

お手入れする

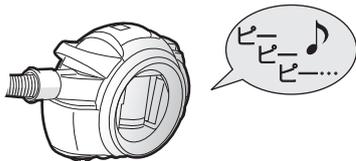
1

ダストカップセット

お手入れの目安

次のようなときは、フィルターのゴミやほこりを取り除いてください。

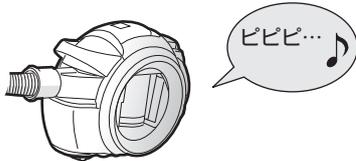
■「ピーピーピー…」と鳴ったとき



- 運転が途中で止まる時
- 吸込力が弱くなる時
- 運転音が変化したり、大きくなる時

次のようなときは、フィルターを水洗いしてください。

★「ピピピ…」と鳴ったとき



- ★ 本体が熱くなる時
- ★ 細かい粉類を吸わせたと時
- ★ ひんぱんに「ピーピーピー…」と鳴るとき

- フィルターを充分にお手入れしても、「ピピピ…」と鳴る場合は、別売の高性能プリーツフィルターをお買い求めいただき、取り換えてください。

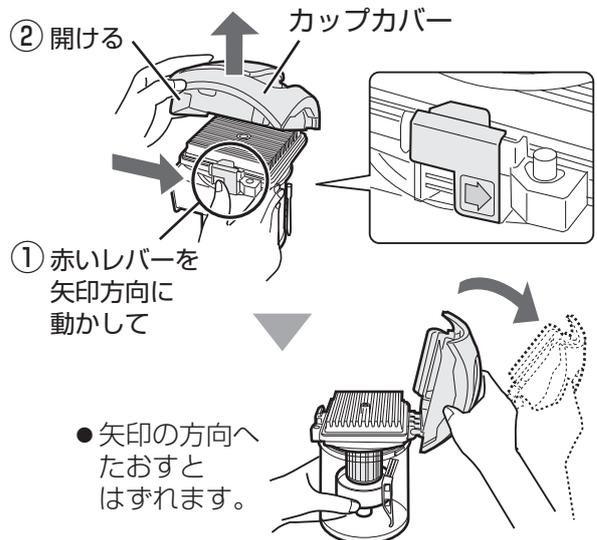
- 吸込口がふさがれた場合(マット掃除時や付属吸込口使用時など)は、フィルターが汚れていなくてもブザー音が鳴ることがありますが、**切**を押してから再度運転すると消えます。

お願い

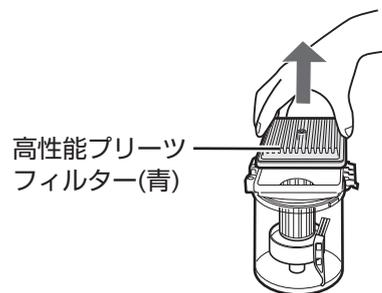
- お手入れせずに運転を続けると自動停止します。必ずお手入れしてください。
- 新聞紙などを敷いて、お手入れしてください。
- シンナー・ベンジン類や、お湯(約40℃以上)は使わないでください。
- 各フィルターは、必ず取り付けて運転してください。ほこりがモーターに入って故障の原因になります。

はずす

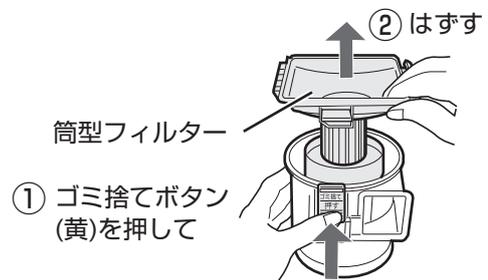
1 カップカバーを開けてはずす



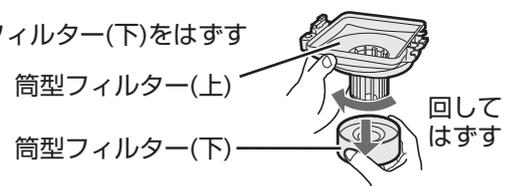
2 高性能プリーツフィルターをはずす



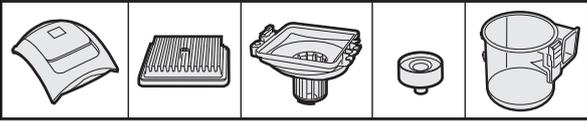
3 筒型フィルターをはずす



③ 筒型フィルター(下)をはずす



水洗いできるもの



ゴミやほこりを取り除く

高性能プリーツフィルター

はたいてゴミやほこりを落とす。

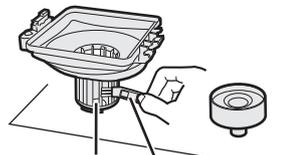
裏側にゴミがたまりやすいため、右図の向きで、はたいてください。



- 強くはたかない。
【破損の原因】

筒型フィルター(上・下)

クリーニングブラシでゴミやほこりを取り除く。



メッシュ
やさしく
こする。 クリーニング
ブラシ(白)

カップカバー

水または薄めた中性洗剤を含ませた布で拭く。



汚れがひどいときは水洗いしてください

高性能プリーツフィルター(青)



裏側を念入りに洗ってください。

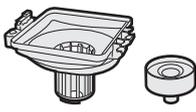
- においや汚れが気になる場合は、衣類用漂白剤10mLに対し、水1Lで薄めた液に約3時間つけた後、水洗いする。

水または薄めた中性洗剤で洗う。

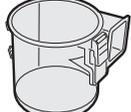
カップカバー



筒型フィルター



ダストカップ



水洗いした後は十分に乾かしてください

- ドライヤーなどの熱風を当てない。
【変形や故障の原因】
- 水気をしっかり切り、タオルなどで水分をやさしく拭き取って、風通しのよい所で陰干しして、十分に乾かす。【においの発生や故障の原因】

乾燥時間目安：12時間
(環境や季節によって異なります)

警告



お手入れ時は必ず電源プラグを抜く

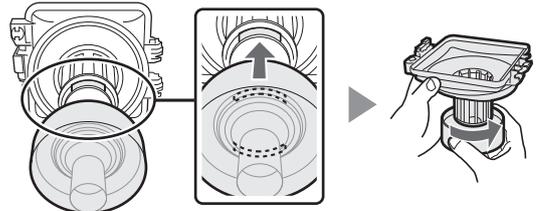
プラグを抜く

【感電・けがの原因】

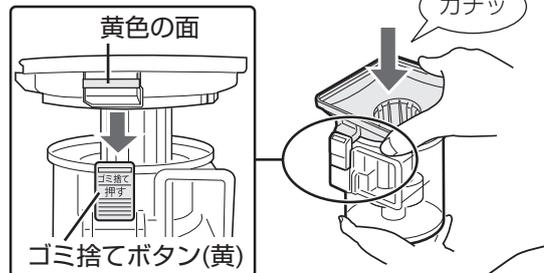
組み立てる

1 筒型フィルター(上・下)をダストカップに付ける

- 筒型フィルター(上・下)を付ける。
差し込み位置を合わせて、回す

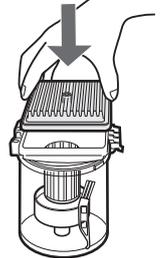


- 黄色の面とゴミ捨てボタン(黄)を合わせて、押し込む。



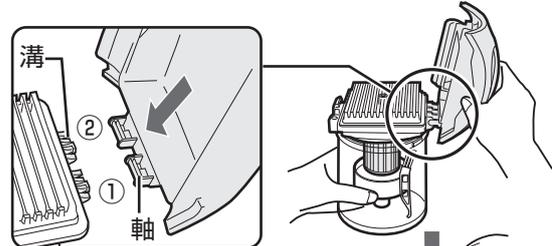
2 高性能プリーツフィルターを付ける

- 筒型フィルター内にゴミや異物がないことを確かめてから付ける。
【異音発生の原因】



3 カップカバーを付けて閉じる

軸(2カ所)を溝に合わせて順番に押し込む。



「カチッ」と音がするまで押し込む。

お知らせ

- 各部品を正しく組み立てないと、本体に取り付けできません。
- ゴミ捨てやお手入れ時に筒型フィルター(下)を紛失しないよう、ご注意ください。